



## 2020年2月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月24日

上場会社名 フロイント産業株式会社  
 コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏島 巖  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 若井 正雄  
 定時株主総会開催予定日 2020年5月28日 配当支払開始予定日 2020年5月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年5月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

上場取引所 東

TEL 03-6890-0750

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期の連結業績(2019年3月1日～2020年2月29日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	16,772	8.9	558	54.3	582	56.1	381	54.8
2019年2月期	18,408	7.0	1,223	37.9	1,326	33.5	843	42.9

(注) 包括利益 2020年2月期 328百万円 (64.5%) 2019年2月期 925百万円 (34.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年2月期	22.79		2.9	3.2	3.3
2019年2月期	50.15		6.4	7.2	6.6

(参考) 持分法投資損益 2020年2月期 百万円 2019年2月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	18,505	13,243	71.6	790.94
2019年2月期	17,448	13,250	75.9	791.34

(参考) 自己資本 2020年2月期 13,243百万円 2019年2月期 13,250百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年2月期	27	852	325	4,314
2019年2月期	435	566	921	5,534

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年2月期		0.00		20.00	20.00	334	39.9	2.6
2020年2月期		0.00		20.00	20.00	334	87.8	2.5
2021年2月期(予想)								

(注) 2021年2月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	6.1	1,000	79.1	1,000	71.6	700	83.5	41.80

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料の13ページ「(5)連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期	18,400,000 株	2019年2月期	18,400,000 株
期末自己株式数	2020年2月期	1,655,480 株	2019年2月期	1,655,480 株
期中平均株式数	2020年2月期	16,744,520 株	2019年2月期	16,821,233 株

(参考)個別業績の概要

2020年2月期の個別業績(2019年3月1日～2020年2月29日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	11,908	9.2	534	54.7	588	54.4	361	60.2
2019年2月期	13,114	8.2	1,180	31.7	1,290	33.7	907	39.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期	21.56	
2019年2月期	53.94	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年2月期	16,930		12,514		73.9		747.39	
2019年2月期	15,581		12,510		80.3		747.12	

(参考) 自己資本 2020年2月期 12,514百万円 2019年2月期 12,510百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(表示方法の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18
4. その他 .....	19
受注及び販売の状況 .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、前半は堅調な雇用・所得環境を背景に、中国向けを中心とした輸出の鈍化による製造業の停滞を底堅い内需を背景とした非製造業が補う構図となりました。後半は、消費税増税、大型台風や暖冬による個人消費の落ち込みや企業収益の下振れが見られる中、2020年に入ってから新型コロナウイルスの感染拡大が徐々に深刻化し、国内消費活動の冷え込み、インバウンド需要の減少、中国のサプライチェーンの混乱等、経済活動の低下が懸念される状況になっております。

また、世界経済は、米中貿易摩擦、中国経済の下振れ、英国のEU離脱、中東情勢の混乱等、世界経済を減速させかねない不透明な要因が続く中で新型コロナウイルスの感染が急速に拡大し、世界経済への影響が深刻化しております。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、薬価改定やジェネリック医薬品使用促進などの医療費抑制策の強化や、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などへの対応を迫られております。また、ジェネリック市場においても、政府が進めてきた普及促進策の効果が一巡し、成長が鈍化することが予想されています。

このような事業環境のもと、当社グループは第7次中期経営計画(2018年2月期～2022年2月期)の3年目を迎え、中期計画後半の計画達成のための施策を強力に推進してまいりました。

当期(2019年3月1日～2020年2月29日)の具体的な課題として、

- ①アジア諸国(インド・中国)、米国および南米諸国、欧州での営業活動強化
- ②グローバル戦略製品の開発、グローバルサプライチェーンの構築
- ③医薬品添加剤の生産体制整備
- ④オープンイノベーションをベースとした産学との連携強化
- ⑤技術交流などを通じた人材育成

などに取り組み、将来の業容拡大に向けた経営基盤を整備しております。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高167億72百万円(前年同期比8.9%減)、営業利益5億58百万円(同54.3%減)、経常利益5億82百万円(同56.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益3億81百万円(同54.8%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門において積極的な営業活動を展開してまいりましたが、ジェネリック市場の成長性鈍化等による設備投資の抑制や、錠剤印刷機など新製品の拡販が遅れたこと、及び中国における新型コロナウイルス感染拡大により、中国向け輸出案件が翌期に期ズレを余儀なくされたこと等により、売上高、営業利益ともに減少となりました。

米国子会社FREUND-VECTOR CORPORATIONは、低採算の大型案件や固定費負担増加の影響等により、売上高、営業利益ともに減少となりましたが、製品の展示やテストを行う施設、展示する機械をリニューアルする等、今後の業容拡大に向けた設備投資に注力しております。

粉碎装置を主力とするフロイント・ターボ株式会社は、期待した中国の電池市場が停滞し売上は減少しましたが、積極的な営業展開により利益率の高い製品を拡販した結果、営業利益は黒字転換となりました。

以上により機械部門の売上高は111億18百万円(同10.1%減)、セグメント利益は3億11百万円(同57.8%減)となりました。

#### ・化成品部門

医薬品の経口剤に使用される医薬品添加剤は、国内での需要増加により堅調に推移しましたが、一部生産委託品について委託先の製造が遅れたことや海外大口ユーザーの生産調整の影響により、売上高、営業利益ともに減少となりました。

また、食品品質保持剤は、海外市場の開拓にも取り組むなど積極的な営業展開を図りましたが、競争激化のなか売上高、営業利益ともに減少となりました。

以上により化成品部門の売上高は56億54百万円(同6.4%減)、セグメント利益は7億81百万円(同23.7%減)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号平成30年2月16日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。なお、前連結会計年度末の総資産額及び負債の合計は、それぞれ17百万円減少しております。

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億57百万円増加し185億5百万円となりました。増減の主な要因は、現金及び預金が12億20百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が8億41百万円、仕掛品が3億36百万円、商品及び製品が2億33百万円、電子記録債権が2億57百万円、建物及び構築物（純額）が2億55百万円、機械装置及び運搬具（純額）が1億29百万円増加したことによるものであります。

また、当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億63百万円増加し52億61百万円となりました。この主な要因は、電子記録債務が7億85百万円、支払手形及び買掛金が1億66百万円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し132億43百万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ12億20百万円減少（前年同期は10億33百万円の減少）し、43億14百万円となりました。

当連結会計年度各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、減少した資金は27百万円（前年同期は4億35百万円の増加）となりました。これは、仕入債務の増加9億21百万円、減価償却費3億86百万円等の増加要因があったものの、売上債権の増加11億6百万円、たな卸資産の増加5億90百万円等の減少要因によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は8億52百万円（前年同期は5億66百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出8億35百万円等の減少要因によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は3億25百万円（前年同期は9億21百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払3億33百万円によるものであります。

## (4) 今後の見通し

わが国経済及び世界経済は、新型コロナウイルスの急速な感染拡大により経済活動水準の大幅な低下を余儀なくされており、感染の終息時期も不透明であることから今後の見通しの予想は困難であり、今後の動向は予断を許さない状況にあります。

また、当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界においては、高齢化の進展に伴う販売数量の増加が見込まれるものの、引き続き薬価改定による価格下落の影響を受けることが予想されます。また、ジェネリック市場は、政府が進めてきた普及促進策の効果が一巡し成長性が鈍化することが予想されます。

このような環境のなか、当社グループといたしましては、2018年2月期よりスタートした第7次中期経営計画(2018年2月期～2022年2月期)を見直し、新たに第8次中期経営計画(2021年2月期～2023年2月期)を策定して、機械部門、化成品部門ともに営業力の一層の強化を図るとともに、お客様の真のニーズに技術力をもって応える体制を整備して、開発・販売のグローバル展開をより積極的に推進してまいります。

これらにより次期業績予想につきましては、売上高178億円（前年同期比6.1%増）、営業利益10億円（同79.1%増）、経常利益10億円（同71.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益7億円（同83.5%増）を予想しております。

なお、この業績予想には、新型コロナウイルス感染拡大が持続することによる影響を反映しておりません。

海外子会社の業績の通期平均為替レートは、1ドル＝105円を想定しております。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主価値の極大化を経営の最重要課題と位置付けており、その成果については、事業環境の変化に対し機動的かつ適切に対処できるよう企業体質の強化を図りつつ、株主の皆様への利益配分を図りたいと考えております。

利益の配当につきましては、業績に応じた成果配分を行うことを基本として年間の連結配当性向30%を目標とし、経営基盤の強化や将来の事業拡大を見据えた内部留保の充実等を総合的に勘案しつつ、継続して安定配当を行う方針であります。

当連結会計年度につきましては、前期対比大幅な利益水準の低下により連結配当性向は大幅に上昇することになりますが、継続して安定配当を実施するとの観点から当連結会計年度の期末配当は前期と同額の1株当たり20円の普通配当を予定しております。

なお、現時点では、次期（2021年2月期）の配当予想は未定であります。

#### 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,534,431	4,314,123
受取手形及び売掛金	4,172,348	5,013,789
電子記録債権	160,222	417,513
商品及び製品	414,397	647,754
仕掛品	1,053,685	1,390,426
原材料及び貯蔵品	1,007,294	1,013,444
前払費用	138,074	139,944
その他	239,599	261,804
貸倒引当金	△8,869	△5,471
流動資産合計	12,711,184	13,193,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,982,319	3,327,759
減価償却累計額	△1,819,365	△1,909,199
建物及び構築物(純額)	1,162,954	1,418,559
機械装置及び運搬具	1,759,916	2,026,554
減価償却累計額	△1,253,108	△1,390,508
機械装置及び運搬具(純額)	506,807	636,046
土地	1,239,674	1,231,252
建設仮勘定	431,499	530,193
その他	1,419,431	1,423,302
減価償却累計額	△991,297	△1,029,473
その他(純額)	428,134	393,828
有形固定資産合計	3,769,070	4,209,880
無形固定資産		
ソフトウェア	15,912	19,811
その他	436	76,270
無形固定資産合計	16,349	96,081
投資その他の資産		
投資有価証券	351,259	319,151
事業保険積立金	279,209	269,227
繰延税金資産	160,556	208,497
退職給付に係る資産	1,244	1,530
その他	164,620	213,029
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	951,491	1,006,036
固定資産合計	4,736,911	5,311,999
資産合計	17,448,096	18,505,327

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,587,769	1,754,324
電子記録債務	582,051	1,367,537
短期借入金	-	32,829
未払法人税等	151,746	61,729
未払費用	362,769	333,886
前受金	666,802	775,289
賞与引当金	212,735	237,693
役員賞与引当金	30,000	6,000
その他	344,884	454,630
流動負債合計	3,938,759	5,023,920
固定負債		
長期未払金	44,064	35,547
退職給付に係る負債	162,460	165,114
資産除去債務	35,131	31,683
その他	17,027	5,113
固定負債合計	258,685	237,458
負債合計	4,197,445	5,261,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,289,513	1,289,513
利益剰余金	11,918,177	11,964,299
自己株式	△773,363	△773,363
株主資本合計	13,469,928	13,516,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,459	13,680
為替換算調整勘定	△265,653	△298,749
退職給付に係る調整累計額	10,917	12,967
その他の包括利益累計額合計	△219,276	△272,101
純資産合計	13,250,651	13,243,948
負債純資産合計	17,448,096	18,505,327



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	18,408,237	16,772,877
売上原価	12,220,111	11,344,395
売上総利益	6,188,126	5,428,481
販売費及び一般管理費	4,964,993	4,870,030
営業利益	1,223,132	558,450
営業外収益		
受取利息	5,436	4,380
受取配当金	64,922	7,547
受取技術料	6,474	5,974
受取賃貸料	1,393	1,266
為替差益	2,423	786
その他	24,880	15,442
営業外収益合計	105,530	35,397
営業外費用		
支払利息	914	719
支払補償費	—	8,373
その他	1,408	1,888
営業外費用合計	2,322	10,981
経常利益	1,326,340	582,866
特別利益		
固定資産売却益	662	14,231
投資有価証券売却益	—	2,200
投資有価証券償還益	23,874	—
特別利益合計	24,537	16,431
特別損失		
固定資産除却損	2,297	26,445
固定資産売却損	1,422	1,155
投資有価証券評価損	—	950
減損損失	91,520	2,188
特別損失合計	95,239	30,739
税金等調整前当期純利益	1,255,638	568,558
法人税、住民税及び事業税	400,395	237,283
法人税等調整額	11,668	△50,252
法人税等合計	412,063	187,030
当期純利益	843,575	381,528
親会社株主に帰属する当期純利益	843,575	381,528

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
当期純利益	843,575	381,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,673	△21,778
為替換算調整勘定	66,601	△33,096
退職給付に係る調整額	30,824	2,050
その他の包括利益合計	81,752	△52,825
包括利益	925,328	328,703
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	925,328	328,703

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,035,600	1,289,513	11,419,492	△201,361	13,543,245
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,035,600	1,289,513	11,419,492	△201,361	13,543,245
当期変動額					
剰余金の配当			△344,890		△344,890
親会社株主に帰属する当期純利益			843,575		843,575
自己株式の取得				△572,001	△572,001
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	498,684	△572,001	△73,316
当期末残高	1,035,600	1,289,513	11,918,177	△773,363	13,469,928

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	51,132	△332,254	△19,907	△301,029	13,242,215
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	51,132	△332,254	△19,907	△301,029	13,242,215
当期変動額					
剰余金の配当					△344,890
親会社株主に帰属する当期純利益					843,575
自己株式の取得					△572,001
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△15,673	66,601	30,824	81,752	81,752
当期変動額合計	△15,673	66,601	30,824	81,752	8,436
当期末残高	35,459	△265,653	10,917	△219,276	13,250,651

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,035,600	1,289,513	11,918,177	△773,363	13,469,928
会計方針の変更による累積的影響額			△515		△515
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,035,600	1,289,513	11,917,661	△773,363	13,469,412
当期変動額					
剰余金の配当			△334,890		△334,890
親会社株主に帰属する当期純利益			381,528		381,528
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	46,637	—	46,637
当期末残高	1,035,600	1,289,513	11,964,299	△773,363	13,516,050

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	35,459	△265,653	10,917	△219,276	13,250,651
会計方針の変更による累積的影響額					△515
会計方針の変更を反映した当期首残高	35,459	△265,653	10,917	△219,276	13,250,136
当期変動額					
剰余金の配当					△334,890
親会社株主に帰属する当期純利益					381,528
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△21,778	△33,096	2,050	△52,825	△52,825
当期変動額合計	△21,778	△33,096	2,050	△52,825	△6,187
当期末残高	13,680	△298,749	12,967	△272,101	13,243,948

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,255,638	568,558
減価償却費	344,822	386,491
減損損失	91,520	2,188
支払補償費	—	8,373
のれん償却額	24,027	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,593	25,126
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,300	△24,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,209	△3,270
受取利息及び受取配当金	△70,358	△11,927
支払利息	914	719
為替差損益 (△は益)	△3,767	△1,827
有形固定資産売却損益 (△は益)	759	△13,075
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△2,200
投資有価証券償還損益 (△は益)	△23,874	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	950
保険解約損益 (△は益)	—	321
有形固定資産除却損	2,297	26,445
売上債権の増減額 (△は増加)	138,522	△1,106,299
たな卸資産の増減額 (△は増加)	615,597	△590,227
その他の資産の増減額 (△は増加)	103,788	△94,541
仕入債務の増減額 (△は減少)	△700,493	921,933
前受金の増減額 (△は減少)	△843,139	114,548
その他の負債の増減額 (△は減少)	65,368	66,026
その他	△8,157	△352
小計	968,548	273,960
利息及び配当金の受取額	70,358	11,927
利息の支払額	△914	△719
保険金の受取額	8,312	—
法人税等の還付額	—	19,469
法人税等の支払額	△610,406	△324,133
その他	—	△8,373
営業活動によるキャッシュ・フロー	435,898	△27,868
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△569,687	△835,378
有形固定資産の売却による収入	662	30,470
有形固定資産の除却による支出	△112	△585
無形固定資産の取得による支出	△14,497	△56,637
投資有価証券の取得による支出	△4,271	△2,502
投資有価証券の売却による収入	—	4,200
投資有価証券の償還による収入	23,874	—
保険積立金の積立による支出	△2,913	—
保険積立金の解約による収入	—	9,661
差入保証金の差入による支出	△580	△1,697
差入保証金の回収による収入	1,185	147
出資金の回収による収入	10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△566,329	△852,322

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	36,389
自己株式の取得による支出	△572,001	—
リース債務の返済による支出	△5,847	△3,653
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△25,398
配当金の支払額	△343,872	△333,131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△921,721	△325,794
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,533	△14,323
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,033,619	△1,220,308
現金及び現金同等物の期首残高	6,568,050	5,534,431
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—
現金及び現金同等物の期末残高	5,534,431	4,314,123

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)

米国会計基準を適用している当社連結子会社であるFREUND-VECTOR CORPORATIONは、当期の連結計算書類から「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)を適用しております。

これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で収益を認識しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用年度開始日に認識する方法を採用し、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

(表示方法の変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは機械装置、化成品の製造販売を行っており、機械事業、化成品事業を当社グループの報告セグメントとしております。

・各セグメントに属する主な製品・サービス

機械 …………… 粉粒体機械装置、粉粒体機械のプラント工事、計器・部品、合成樹脂の微粉碎受託

化成品 …………… 医薬品添加剤、栄養補助食品、食品品質保持剤、製薬・食品・化学等の開発研究、処方検討等の受託、医薬品の新剤形の開発及びその技術供与

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,368,175	6,040,062	18,408,237	—	18,408,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,368,175	6,040,062	18,408,237	—	18,408,237
セグメント利益	737,344	1,024,775	1,762,119	△538,986	1,223,132
セグメント資産	7,687,008	4,131,509	11,818,518	5,646,788	17,465,307
その他の項目					
減価償却費	216,401	122,252	338,653	6,168	344,822
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	431,179	194,543	625,723	1,872	627,595

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△538,986千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額5,646,788千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主なものは親会社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券、保険積立金等)及び管理部門に係る資産等であります。
  - (3) 減価償却費の調整額6,168千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,872千円は、主に報告セグメントに配分していない全社資産にかかるものであります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。



当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,118,858	5,654,018	16,772,877	—	16,772,877
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,118,858	5,654,018	16,772,877	—	16,772,877
セグメント利益	311,116	781,690	1,092,806	△534,356	558,450
セグメント資産	9,167,797	4,197,371	13,365,169	5,140,158	18,505,327
その他の項目					
減価償却費	250,634	130,195	380,829	5,662	386,491
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	660,048	290,799	950,848	348	951,196

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△534,356千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額5,140,158千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主なものは親会社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券、保険積立金等)及び管理部門に係る資産等であります。
  - (3) 減価償却費の調整額5,662千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額348千円は、主に報告セグメントに配分していない全社資産にかかるものであります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	中南米	欧州	その他	計
12,999,738	1,495,414	1,826,445	410,294	1,676,345	18,408,237

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	イタリア	計
2,781,445	883,173	104,451	3,769,070

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	米国	中南米	欧州	その他	計
12,195,441	1,393,026	1,502,174	557,828	1,124,406	16,772,877

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	イタリア	計
2,973,552	1,147,321	89,006	4,209,880

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

「機械」セグメントにおいて、フロイント・ターボ株式会社は当初予定していた収益を見込めなくなったことから、固定資産に係る減損損失23,443千円を計上しております。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

固定資産に係る減損損失を「機械」セグメントにおいて203千円、「化成品」セグメントにおいて1,984千円計上しております。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

「機械」セグメントにおいて、のれんの償却額24,027千円を計上しております。なお、68,076千円の減損損失を計上しており、未償却残高はありません。

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)		当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	
1株当たり純資産額	791円34銭	1株当たり純資産額	790円94銭
1株当たり当期純利益金額	50円15銭	1株当たり当期純利益金額	22円79銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	843,575	381,528
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	843,575	381,528
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,821	16,744

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## 受注及び販売の状況

## (1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)		当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	11,839,221	102.8	10,227,445	86.4
化成品部門	735,777	119.5	779,421	105.9
合計	12,574,998	103.7	11,006,867	87.5

(注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。

2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)		当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	5,428,628	93.2	4,695,673	86.5
化成品部門	126,632	150.5	201,345	159.0
合計	5,555,261	94.0	4,897,018	88.2

(注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。

2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)		当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	12,368,175	67.2	11,118,858	66.3
化成品部門	6,040,062	32.8	5,654,018	33.7
合計	18,408,237	100.0	16,772,877	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。